

大阪市財政の現状と見通し

平成29年10月

OSAKA CITY
大阪市



I 大阪市の起債運営

- 起債運営のコンセプト 2
- 大阪市の格付け 3
- 今後の発行 5年債・10年債 4
- 最近の発行実績 5

II 大阪市の概要

- 大阪市の概要① ～人口・地価～ 6
- 大阪市の概要② ～市内総生産～ 7
- 市税収入の推移 8
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略①
～観光戦略(1)、(2)～ 9
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略②
～うめきた2期区域のまちづくり～ 11
- 市民生活の安全・安心の確保のための取り組み 12

III 財政の現状

- 大阪市の課題 ～生活保護費の適正化～ 13
- 財務リスクに係る取組・処理状況 14
- 財政健全化法における4指標 15
- 市債残高の推移 19
- 市債発行額の推移 20
- 公債償還基金の残高 21

IV 今後の見通しと取組

- 今後の財政収支概算(粗い試算) 22
- 財政健全化への取り組み ～人件費～ 23
- 新たな価値を生み出す市政改革の推進 24
- 府市連携の推進 25

起債テーマ

「Investor Relations (IR) 活動の充実による投資家の皆様との信頼関係の確立」

平成24年度から 全年限において「主幹事方式」を採用

- 幅広いお客様との対話を踏まえた実需に基づく条件決定を行うことで発行条件の信頼性を高める
 - 主幹事方式の特徴である「均一価格（発行条件）でのお客様向け販売」を徹底し、お客様に安心して発行価格で購入していただける起債運営を行う
- ⇒（以上の2点を徹底することで、）お客様が本市債を発行条件で購入された後、流通市場でも適切に価格が形成され、安心して継続保有や売買ができることにより、お客様の満足度を高めていく

**上記起債テーマに基づいたお客様重視の起債運営を一貫して行うことで、
地方債市場における盤石な評価の定着と、安定的な調達基盤の構築を図る**

主幹事方式とは

- 発行体（本市）が提案を募集、選定した金融機関を「主幹事」とし、発行体と協議しながら起債運営全般を進めていく方法
- 投資家需要が発行額を満たすスプレッドにて発行するため、市場の実勢に基づいた条件決定が行える

大阪市の格付け(地方自治体最上位、国債と同格)

平成19年度から「発行体格付け」を取得

- 情報公開を徹底し、市政の透明性を確保する観点から、発行体格付けを取得
- 評価にあたり、今後も滞りなく改革を進めていくことが前提との意見をいただいていることから、今後とも緩むことなく市政改革を進め、市民の皆様、投資家の皆様の信頼を得られるよう努めてまいります

本市発行体格付けの状況

国際的に高い認知度と実績のある格付会社2社から日本国債と同水準の格付けを取得

スタンダード & プアーズ

A+ (安定的)

- 多様な経済活動に支えられ、経済基盤は非常に強固
- 財政パフォーマンスが非常に良好で安定
- 極めて高水準の流動性

財政健全化への取組は引き続き市長と市議会双方からおおむね支持されており、財政運営は「強い」。この評価は、市の財政が着実に改善しているという実績に裏付けられている

資料:2016年12月7日スタンダード&プアーズレポート

ムーディーズ

A1 (安定的)

- 中央政府による地方財政監視の強固な制度的枠組み
- 西日本の経済活動の中心としての高い経済力
- 良好な歳出管理と安定した歳入に支えられた高い財政パフォーマンス

資料:2017年3月8日ムーディーズレポート

今後の発行 5年債・10年債

発行予定

年限	条件決定日	発行額	払込日	償還日	主幹事
5年債	平成29年11月(予定)	100億円程度	平成29年11月(予定)	平成34年11月(予定)	野村證券、大和証券、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
10年債	平成29年11月(予定)	100億円程度	平成29年11月(予定)	平成39年11月(予定)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券、 SMBC日興証券、みずほ証券

平成29年度 大阪市 全国型市場公募地方債 発行予定

平成29年10月末現在(単位:億円)

種別	発行額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別市場公募	1,200												
5年債	800		100				100		100		100		
10年債			100				100		100		100		
20年債	400	<small>20年債(満期一括)</small> 100					<small>20年債(定時償還)</small> 100	<small>20年債(満期一括)</small> 100					
30年債								<small>30年債(満期一括)</small> 100					
フレックス枠 (年限・発行方式未定)	800	<small>20年債(満期一括)</small> 100	<small>5年債</small> 100				<small>20年債(定時償還)</small> 50	<small>20年債(満期一括)</small> 50 <small>30年債(満期一括)</small> 50	← 450 →				
共同発行債	300	50					50			50	50		100

※ 発行月及び発行額は今後の状況変化により変更する可能性があります

最近の発行実績

5年債・10年債

		28年9月	28年11月	29年1月	29年5月	29年9月
5年債	条件決定日	平成28年9月9日	平成28年11月16日	平成29年1月13日	平成29年5月12日	平成29年9月6日
	発行額	100億円	100億円	100億円	200億円	100億円
	応募者利回り	0.001%	0.0006%程度	0.020%	0.010%	0.020%
	国債対比(カーブ)	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用
	シ団組成	—	—	—	—	—
10年債	条件決定日	平成28年9月9日	平成28年11月16日	平成29年1月13日	平成29年5月12日	平成29年9月6日
	発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
	応募者利回り	0.105%	0.130%	0.175%	0.195%	0.150%
	国債対比(カーブ)	+13.0bp	+12.0bp	+12.0bp	+14.0bp	+14.0bp
	シ団組成	—	—	—	—	—

- 需要動向を踏まえて適正なスプレッドを設定
- 超過需要を創出し、可能な限りシ団を編成することを重視
- 需要を着実に積み上げ、増額を実現(5年債:29年5月 100億円)

超長期債

		29年4月	29年9月(定時償還)	29年10月
20年債	条件決定日	平成29年4月12日	平成29年8月25日	平成29年10月13日
	発行額	200億円	150億円	150億円
	応募者利回り	0.655%	0.314%	0.635%
	スプレッド(カーブ)	+4.5bp	MS+9bp	+3.5bp
	シ団組成	—	○	—
30年債	条件決定日	平成27年10月16日	平成28年10月7日	平成29年10月6日
	発行額	250億円	150億円	150億円
	応募者利回り	1.500%	0.610%	0.973%
	スプレッド(カーブ)	+14.0bp	+11.0bp	+11.0bp
	シ団組成	—	—	—

- 需要を着実に積み上げ、29年4月は100億円、29年9月及び10月は50億円増額
- 投資家の皆様のニーズを踏まえ、定時償還債を、28年10月に引き続き29年9月に発行
- 需要を着実に積み上げ、27年10月は150億円、28年10月及び29年10月は50億円増額